大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　十二月二日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月一圓十五錢
廣告料　普通一行一圓三十錢　特別同二圓五十錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話三二二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

滿洲國皇帝御渡日 四月上旬に決定す

加藤秘書官の東上打合せなる

【東京國通】滿洲國皇帝陛下には帝制實施に當り日本皇室より御慶祝特使として秩父宮殿下を御差遣あらせられ且建國以來日本朝野の深厚なる好誼を寄せられたのに對し御答禮のため親しく日本御訪問の御希望あらせられたが、滿洲國宮內府大臣秘書官加藤內藏助氏は此の程上京、約三週間滯在して宮內省當局と御渡日準備其他につき愼重なる打合せを遂げた結果、皇帝陛下には明春四月上旬愈々御來朝と御決定あらせられた由承はる

華府條約廢棄通告 遲くも十五、六日頃

四日の閣議で正式に決定

【東京國通】華府條約廢棄はイタリーの回答を待ち四日閣議で正式決定の上樞府御諮詢手續を終り遲くも十五、六日頃までには廢棄通告發送の豫定である

イタリー政府

共同廢棄拒絕決定

【ローマ一日發國通】イタリー政府は日本海軍のワシントン條約共同廢棄提議を拒絕するに決した

共同廢棄に應じ難しと

佛大使外相へ回答

【東京國通】フランス大使ピラー氏は一日午前九時廣田外相を訪問、華府條約廢棄問題に就きフランス側の回答を手交した、フランス政府は共同廢棄に應じ難き旨回答したものと觀られる

暫く列國の模樣を見るが當然

外相答辯

【東京國通】一日の衆議院大會議に於る中野正剛氏の質問に對し廣田外相は左の如く答辯した

華府條約廢棄を何故早くせぬかと言はれるが我が軍縮對策は確固不變各國が之を諒解せずには居ないものと信ずる、よつて豫備會商の間暫く列國の模樣を見るが當然で私の政策を禮讓に過ぎると見る向きもあるが致し方ない、支那の門戸開放は一日も早きを望む次第である

承德領事館 開館祝賀式

【承德國通】承德領事館に於ては去る八月十日開設以來外容及び內部の設備を整ふべく工事中であつたが此の程竣工したので十二月一日正午在承知名士百八十餘名を招待盛大なる開館披露の宴を催した、餘興に藝妓の手踊その他あり午後二時より一般の觀覽が許可された、尙同二時よりは民會主催の祝賀會が催された

農村の救濟なくして何んの國防ぞ

中島（民）君獅子吼

＝一日の衆議院本會議＝

【東京國通】衆議院の質問第二日は一日午後一時十五分開會濱田國松君は官紀紊亂問題をひつさげて登壇

司法當局に於ける法律運用は國民間に疑惑の聲あり、憲政擁護を口にするとも司法當局にして非違をなすならば憲政の確立は期し得ない

と大藏省官吏の瀆職事件取調べに言及、大藏省事件に對する司法當局の態度を批難し小原法相に食つてかゝり二時間餘に亘つて長廣舌を振ひこれに對し小原法相は大体貴族院に於いてなしたと同樣の答辯をなし濱田國松君は更に後藤內相、岡田首相にも八つ當りして降壇次いで中島彌團次君登壇、先づ災害豫算につき質問の矢を向け關西風水害當時大阪氣象臺の措置に對し松田文相を先づ槍玉にあげ次いで軍事豫算に鋒先を向け明年度豫算中その六割は軍事豫算でこれがため危急な農村救濟豫算が大削減を蒙つたとして膨大な軍事豫算に一矢を酬ひ農村救濟なくして何んの國防ぞと大見榮を切り更に所謂陸軍パンフレット問題に入り我々はパンフレットを出したのがよいとか惡いとか言ふのではない、その中に書いてある統制經濟主義によらんとするが如き主張に就いて陸軍省の所見如何を聞きたい、又海軍に對しては無條約となつた曉建艦競爭が起るも經費のかからないような方法をとると言はれるが如何とたゞし更に藏相に對し、首相は昨日一般の增税は行はないと言つたが藏相も同意見なりや、其他各相に向つても質問の巨彈を放つて一時間に亘る質問をなしこれに對し各相それぞれ答辯をなした、特に陸相は陸軍パンフレット問題に就き

元來この小册子は陸軍の考へて居る國防の觀點より社會諸般の情勢に就いて國民の均しく考へねばならぬ事を發表したものである、然しこれは正式のものでなく陸軍省內にある新聞班が國民の參考までに配布したものである、陸軍が改善せねばならぬと思ふ事を述べては居るが直ちに軍が行ふと考へては居ないのである

と述べるや議場騷然「將來はどうだ」との聲起る、次いで大角海相答辯に立ち

帝國政府は先に首相外相の演說で述べられた通り公正妥當の對策と信ずる、松平山本兩代表は目下豫備會商で努力中であるので豫備交渉の經過は遺憾ながら發表出來ぬ、不幸にして豫備交渉が解決を見ないにしても列國がみだりに建艦競爭に入るものとは思はれない、然し華府條約の否定により廢棄通告を出しても條約は未だ明年明後年は効力がある、その時期は列國にとつて靜かに考へる絕好の機會であると思ふ、その際に於て日本の公正妥當な軍縮案を蹴飛ばす國ありとせば我々はこれに對し斷乎たる決心を持たねばならない、然しかゝる結果になるとは必ずしも考へない、要は我々は國防の安全を期す計畫を講じたいのである

次いで高橋藏相答辯にあたつたが、藏相は巧みに質問の的をそらす、これにて中島君の質問を打切り次いで安藤正純君登壇、先づ綱紀肅清問題につき首相に迫り在滿機構改革に關する官紀紊亂並びに內閣不統一問題の糺明に當り中島君と同樣陸軍パンフレット問題で陸相に質問の矢を向け國民を啓發したのはよいが國防中心で他は之に從屬するが如き立論には贊成出來ぬ國民生活こそ中心であると述べ、其他綱紀問題を中心とする諸問題に言及し之に對し政府側の答辯に入り更にそれより西村丹次郎、田子一民、杉山元次郎の三君が災害豫算を中心とする農村問題につき政府に肉迫最後に中野正剛君一般施政に對する彈劾的質問をなし深更に及び漸く質問を打切つた

藏相答辯に

議場齊しく感激

【東京國通】一日の衆議院本會議に於て安藤正純君（政友）は大藏事件に關して引責した高橋藏相を岡田首相が豫審も終らぬのに今回又藏相に奏請したとてその責任を追及したるに對し岡田首相は我國財政の現狀に鑑み奏請したと答へ次いで藏相は

大藏事件については裁判の結果如何に關はらず相濟まぬと思ふ然しこのために私が將來忠誠を盡するの自由を奪はれるものとは考へぬ

とキッパリ言ひ切るや民政黨席より怒濤の如き拍手起り各閣僚の面上にも感激の色漂ひこの一瞬議場は肅然となつた

石油專賣の

―各方面への影響檢討―

英米蘭三國が九ヶ國條約を擔ぎ出して日本に抗議をなし一時世界の視聽を集めた滿洲國石油專賣は研究の結果理論的に實際的に列國の利益を害し既存條約に抵觸するもので斷じてないとの結論に到達し滿洲國は當初の計畫に基き諸般の準備を進めつゝあつたところ元卸賣人並卸賣人の申込み頗る良好で豫ての布告通り十二月十日を以て之を締切り愈々近く專賣實施の運びとなつた、本專賣の主體たる石油類並にその他の鑛物性油は日用生活必需品たるのみならず軍事產業に密接な關係を有するので當局は專賣關係法規立案に當つてその影響に就て最も苦心を拂ひ對內外的無影響を期してゐたが然し從來の自由商品が一躍專賣品になるのであるから多少の動搖は免がれず今玆に專賣實施後に於ける影響の主なるものを擧げれば左の如くである

△價格はどうなる　全國的に言へば石油は從來より安くなる、即ち自由競爭品であつた時代、ソ聯のダンピングは相當市場を荒し部分的に安價品を入手せるものあつたが此の反面或地域に於ては不當なる價格の爲民衆の生計が壓迫せられたのは事實で專賣制度實施に依り專賣公署は世界的市價に應じ適正なる專賣價格を公定するから斯る不安定が一掃される、專賣價格は全滿價格を統一するを理想とするも現在の情勢に於ては運賃を度外視するを得ず從つて地方によつて專賣價格が相違するが然し從來に比して高價になる事は大体に於てないものと思考せられる

△石油商人はどうなる　關係法規によつて明示する通り現在滿洲に於て石油類販賣を業とする者の既存施設は評價委員會に於て決定せる價格を以て買上げ更に營業の繼續を希望する者に對しては當局の指定によつて元卸賣人の許可を與へ專賣品を取扱はしむ、但し元卸賣人は全滿十ヶ所（鞍山、營口、錦州、安東、圖們、奉天、四平街、新京、ハルビン、チチハル）の販賣區域に各一ヶ所と決定してゐるが故に同一區域內に於る販賣店は相互の協定によつて單一の法人格を構成し之を元卸賣人たらしむる準備が進められてゐるが、右介入權を認められる業者はスタンダード、テキサス、アジア日石、小倉、ソ聯合同の各總代理店で卸賣人は之等の販賣代理店並ひに既報の販賣業者が殆んど全部認められるものと豫想されて居る

△輸入品はどうなるか　現在の輸入總額は滿洲一千萬箱關東州三百萬箱と稱されその內譯はスタンダード三割五分、テキサス二割、アジア二割五分、ソ聯一割、日本一割の比率であるが輸入量に於てさしたる變化は見ざるも輸入品目に於て從來精製品が大部分であつたのが滿洲石油會社の製造が認められ政府が買上げる結果輸入品の半は原油に轉換するものと豫想せられて居る斯くて輸出國は利潤に於て若干の低下を餘儀なくせらるるもその反面自由競爭ダンピング等に依る販賣戰線の混狀から解放され却つて貿易の安定を得る點に於て利益があると考へられてゐる

△專賣の利益はどうなる　本專賣の目的は石油の國內生產並に資源開發の助長政策と生活必需品たる關係から供給方面に對し適正なる國家統制を加へるといふ二つの公益目的を有してゐるから當局としては全然財政目的を有せず從つて之が實施に依つて歲入の增加を計るが如き考へはない

△關稅收入はどうなる　精油原油に對する關稅率の差は大してないから輸入量に變化を來さゞる限り關稅收入が減ずるが如きことはあり得ない

△不賣の際はどうなる　一時上海電報の報ずるが如く輸出國が共同戰線を張つて滿洲國をボイコットする場合は日本をもその渦中にまき込むは必然であるがソ聯を除く資本主義國家が自國の產業を無視してかゝる暴擧に出る事が事實上不可能なるは明かで日滿當局としては對策ありとするもかゝる問題を神經質に考へる必要はないと靜觀的態度をとつてゐる

對滿石油不賣は

賣らんが爲

滿洲國の石油專賣を門戸開放に反するとしてスタンダード、テキサス、アジア、ユービーテイ各石油會社の出先では四社聯合協定の下に滿洲國への輸出禁止をも敢てなさんとする強硬態度を持してゐるが滿洲國側では往年フランスに於ける專賣法施行當時の實績に照し極めて樂觀してゐる即ち

一、滿洲國に不賣を行ふも日本に賣る以上問題なく、石油を滿洲國に賣らんが爲に石油政策に對して云々するのであり世界的不況の折柄滿洲の好市場を手離す筈はなく結局は不賣解消の已むなきに至るであらう

一、萬一の場合には日石や小倉が輸入してゐる加州原油を輸入することが出來、加州石油はスタンダード、テキサスとは事實上無關係であり生產過剩に惱んでゐる時であるから供給には不足を感じない

デ比島大學教授の興味ある論說

〃極東の盟主は日本である〃

ヒリッピン大學教授デューラン氏は日比關係の將來に關して左の如き興味深い論說を發表した

ヒリッピンは十年後において米國から獨立し比島獨立國家として世界平和の確立國家秩序の維持、司法權の勵行並に民權保證の責任を擔ふ事となつたが、同時期において比島國に最も緊要なる問題は國防即ち領土保全の問題である、然し乍ら現在の比島の人口及び國內資源では一朝有事の際、他國家の襲擊に對して完全に國家を防禦し得るといふことは疑はしい、新獨立法中米國大統領は「永久中立條約締結の目的をもつて列國と可及的速に交涉を開始すべし」と述べてゐるが若し極東において實際の政治及び現經濟狀態を無視するやうな事があれば中立國の出現は歐米列强をして極東に更に騷動する口實を與へることゝなり、比島國は他の弱小國と同樣の地位に陷るであらう、諸列强の中日本を除くほか一國家として比島國の領土保全のため必要に應じて直接に積極的行動を採らんとする意志を有する國はあるまい假にその意ある國を有するとしても實力が及ばないであらう

デュラン教授は更に日比の經濟的提携の必要を說き比島を產業的に救濟するの途はゴム、棉花の如き原料品產出による外なく、而もこれ等の原料生產品は日本の必要品である故日本へこれら原料品を供給し、日本よりは工業製品の供給を得て互惠の通商條約を締結すべし

と論及してゐる、滿洲國の盟邦日本は又獨立後の比島國の友邦として東洋の盟主として大亞細亞建設の中樞となり、アジア人の亞細亞を建設し、ひいては世界平和の誘導者となるべき重責を擔つてゐる、非常時日本の持つロールは世界平和確立の主動力でなくてはならない

滿洲產大豆からモビルオイル製出

永井帝大助教授研究に成功

【東京國通】石油產出額の極めて少い日本に取つて將來益々增加する航空機その他のモビル油の需要を如何にして充すかは重大問題だが最近東京帝大航空研究所助教授永井雄三郎氏は滿洲國產大豆を原料として最良のモビル油を製造することに成功した、これは從來石油原油から製造した日本產のものに比較すると飛行發動機に必要な粘度指數及び安定度遙に大きく零下三四〇度でも凝結しない優良のものでその工業化實現は一擧兩得の事業として期待されて居る

人事往來

▲笠井重治氏（東京市會議員）二日午前十一時着ハルビンから大和ホテル投宿
▲陶昌善氏（ハルビン金城銀行員）二日午後五時三十分着ハルビンから大和ホテル投宿
▲石崎孝次郎氏（東京料理人）同上
▲大津敏氏（滿洲情報社長）一日午後五時三十分着大連から大和ホテル投宿
▲迫田茂氏（東京會社員）一日午後五時三十分着奉天から名古屋ホテル投宿
▲百枝辰男氏（吉林省分署員）一日午後三時着ハルビンから名古屋ホテル投宿
▲大谷修平氏（會社員）一日午後五時三十分着大連から名古屋ホテル投宿
▲杉原中將（第〇〇團長）一日午後零時發四平街へ
▲蒲中將（第〇〇〇〇團長）同上
▲蓮沼少將（〇〇〇團長）同上
▲張益三氏（軍政部軍需司長）同上
▲大田爲吉氏（駐露大使）一日午後三時着モスクワから大和ホテル投宿
▲青木重臣氏（關東廳警務課長）一日午後五時三十分着旅順から

20　戀愛遊戲（ラブレー）＝承諾したの（二）　澤 蘭子作

と、ぶつきら棒に聞く。

「武藏小山よ、ね、途中まで送つて下さる」

隆一は、迷惑に思ひながらも無意識のうちに承諾してしまつたのです。

そして手を組んだまゝ蒲田驛のフォームで電車を待つ間も、晴枝は、

「こんど、何處かで悠くりお目にかゝれませんこと。ね、お約束してよ」

と、甘へながら、低聲でこんなことを云つたのですが、隆一は、折からフォームに入つてきた電車の轟音で聞えなかつた振りをして、それには答えなかつたのです。

電車に乘つてからも、晴枝は隆一の横にペッタリと腰を卸し、次から次へと、種々なことを話しかけたのですが、隆一はいゝ加減に、曖昧な返事をしてゐました。そして、目黑の驛で晴枝が、殘り惜しさうに降りてしまふと、隆一は、初めて我れにかへつた氣持がしたのです。

その翌日、隆一は、學校へ行かうとしてレイン・コオトを着ながら、何氣なくポケットへ手を入れた瞬間、隆一の手は、ピリッと動きました。隆一の手には、なめらかな小型封筒が觸れたのだ。

急いで、自分の書齋に引返した隆一は、手にした封筒の文字を見ると、鉛筆で『篠隆一樣』としてある。大方昨夜三人の中の誰かであらうと思つて、その儘引裂いてしまはうとしたのですが、何と書いてあるかといふ好奇心から、封を切つて見ると水色のペーパーが四つ折りになつてゐました。開いてみると、

わたし、こんな手紙なんか差上げたりして、美保子さんに惡いかも知れませんわ。でもわたしは、貴下が華族の若さまぢやなくて、美保子さんの從兄同士だと云ふことをちやんと知つて居りますわ。でも、そんな事バラしたりなんかしませんから、わたしのお願ひきいて下さる。……わたしは、貴下をこゝろからお慕ひして居りますのよ。それで、今度の木曜日の正午、蒲田驛の待合室でお待ち致しますから、是非、お越し下さいね。お願ひ致しますわ──晴枝と、かなりに達者な走り書です。

隆一は、一寸、厭な顏をして、

『チエッ、僕の知つたことか』

と、吐き出すやうに云つて、そのまゝ手紙を引裂いてまるめながら、玄關へ出て行つたのです。

と、同じ日の午後。美保子の家では、美保子が學校から歸つてみると、机の上には一通の封筒が、彼女を待つかのやうに載つてゐたのです。封筒の裏には『篠隆一』と書いてあつたが、しかし書體がまるで違ふので、不審に思ひながら封を切つてみると

昨夜は、意外の失禮をしました。俺達はこの上もなく愉快でした。貴女のやうな友達を持つたことが誇りのやうに思はれてなりません。早速ですが今度の木曜、正午から一時迄に銀座のグリーンでお待ちします。是非、お出で下さることをお願ひします。では。お體を大事に。──黑田生。──

美保子は、一寸讀み終つて、眉をひそめた

戰時給與令は解除されたが 關東軍大ニコニコ 上に薄く下に厚く 第一線は更に優遇 臨時給與令內容

關東軍管下各部隊は十一月二十六日勅令第三二七號を以て公布された在滿陸軍部隊臨時給與令により來年一月一日から戰時給與令を解除されることゝなつた

斯くて事變勃發以來全然家庭を顧みる暇を有たなかつた在滿將士も四度目のお正月を初めてなごやかな一家團欒の裡に迎へられる譯である、從來高等官、判任官共一律に本俸の十分の五の手當だつたが新給與令によると在勤加俸は

一、將校、同相當官及高等文官、同待遇者には俸給の十分の五以內

二、准士官、下士官以下及判任文官同待遇者には俸給の十分の八以內

三、在勤加俸年額八百四十圓に滿たざる者は年額八百四十圓迄を給するを得

と規定されて居り、其間上に薄く下に厚くとの精神が力强く窺はれて嬉しい、從來の戰時給與では手當の外食住共に官給であつたが今度は官舍の支給あるのみとなるから高等官に於ては戰時給與マイナス食費即ち食費丈けの減收となり判任官に於ては從前と收入に變動なきのみならず、大部分は却つて增收を見る結果となる模樣である、數字上で減收となる高等官にしても從來家庭を內地に殘して二重生活の形にあつたのが單一生活となるし其上判任官同樣宿舍及家具の貸與（又は宿舍料）防寒用薪炭の支給（又は薪炭代金）があるから結局懷中の勘定は非常に樂になる譯で、事實上の增給とも見做され、この處關東軍將士擧げて大ニコニコの光景である、右は中央であるが更に邊境を通じて適用されるものであるが更に

一、匪徒鎭壓、警備等のため必要あるときは糧食を官給す

二、匪徒鎭壓に從事し又は特に僻遠の地方に勤務する軍人軍屬には特に必要ある場合日用品を給する事を得

とて酷寒苦熱を冒して治安維持に寢食を忘れて奮闘しつゝある第一線將士の優遇が規定されてゐるのは賴母しい極みである

平康里の小火

一日午後九時ごろ三笠町四丁目滿人料亭榮華堂方炊事場から出火したが家人が發見消しとめた原因は煙突の不完全と判明した損害十圓

迫るお正月 お餅の御用意は？ 糯米はますく騰りそう

慌しい師走も訪れて街々に歲暮氣分が横溢し初めた、さてお正月に無くてはならないお餅の準備はいかゞ？…餅米の御値は漸騰の氣配があるので餅屋さんでも餅搗料金の決定にまごついてゐる、まづ餅屋の糯米仕入値段が十一月中旬に三斗入一叺で八圓五十錢してゐた滿洲米が現在九圓十錢に騰り、なほ漸騰氣配、永樂町二丁目二番地菓子舖風月庵で正月餅搗あげ値段をきけば滿洲米一升五十五錢（餡入れ七十錢）內地米一升六十五錢（餡入れ八十錢）餡百匁で十五錢、搗方は全部機械搗で、氷餅（堅い）と喫食數日前につくものとある、滿洲では氷餅の方がはやる、この外粟餅もやつてゐる

六月以降水災總計表

本年六月以降南北滿を襲つた水災は一昨年ハルビンを中心に北滿一帶に及んだ水災の再來かと憂へられてゐたがその數字的調査が此の程完了一日滿洲國政府より發表されたが左の如く農產物災民數とも憂へられてゐた程の被害もない

一、災民數 一、八六六、三〇五六人

一、死傷數（死 六五五人 傷 六三人）

一、浸水家屋（一四、七四四戶 四三、八八五間）

一、浸水田地 一、八六一、九六五、〇五天地

一、損害額

農產物（一、九六八、四八二石 四〇、八四二、八六三圓）

家屋 一、四九五、六四七圓

一、縣（市）類 一三九縣 二特別市

朝鮮人宅へ拳銃强盜

一日午後九時三十分ごろ尾上町四丁目四番地朝鮮人崔文煥方へ支那長衣を着した三人組の拳銃强盜が押入り家人に拳銃を突付け金を出せと脅迫した末溫突に掛けてあつた黒羅紗紳將校マント一着時價十圓を强奪逃走した、屆出に接した新京署では直に署員の非常召集を行ふとゝもに刑事隊は現場に急行犯人搜査に努めたが、犯人を逮捕するにいたらなかつた

苦力生埋め 遂に死亡

中央通市瀨工務所使役苦力河北省生れ美勳堂（二六）は一日午後四時ごろ鐵道北で水道鐵管埋め込みのため一丈餘尺を掘下げ作業中突然土砂崩壞し生埋めとなり即死した

モダン新京公會堂 ―新築工事愈よ完成―

國都新京唯一の大集會場をほこる新京公會堂は極力工事を急いでゐたところ此の程すつかり竣工、今はたゞ內部の設備を殘すのみで來る廿四、五日頃にはいよいよ開館の豫定であるこの工費十萬圓は軍、滿鐵、關東廳滿洲國その他一般市民の寄附に成つたものだが大講堂は定員千七百名、正面を舞台として演劇、映畫など上演にも使用され、ほかに小集會場、談話室、撞球場、食堂などあり、一般市民のクラブとしても好適のものである、開館の曉は大いに利用されるであらう（寫眞は竣工成る新公會堂）

ソ聯鐵道が運賃割引

シベリヤ經由旅客及び手荷物連絡輸送運賃はソヴイエート鐵道が左の如く運賃の改正を實施した

一、滿州里經由の歐亞連絡旅客に對しては普通旅客運賃の三割五分（ウラジオ經由の場合は四割八分）を低減す

一、歐亞連絡往復旅客に對しては前號の運賃より更に一割を低減す

一、五十人以上の歐亞連絡團體旅客に對しては四割一分 百人以上の歐亞連絡團体に對しては五割一分の低減

一、手荷物運賃は五割を低減

一般增稅は斷行しない 郵料値上げも行はぬ ＝關係各相議會で言明＝

【東京國通】岡田首相は三十日の衆議院本會議に於て一般增稅不斷行を明瞭にしたが、果して高橋藏相が藤井前藏相の健全財政を踏襲するとすれば必然的に一般增稅、鐵道益金繰入、郵便料金値上げが決行される事になり、高橋藏相始め關係各大臣の態度は頗る注目されてゐた折柄、一日衆議院に於る中島氏の質問に對し各大臣何れもその意思無きを言明した、卽ち高橋藏相は臨時利得稅は既に閣議に於て正式決定を見たのであるから已むを得ない、赤字漸減も國庫財政內容の强化を圖るために必要であるが、之が對策として一般的增稅を斷行するはその時機に非ず、一般增稅は中央、地方を通じて負擔の增加を强要するものであるから之が斷行に當つては愼重な調査研究を加へねばならぬと一般增稅の尙早なるを强調し、內田鐵相は又一般的增稅をやらない限り鐵道益金繰入れは一年間を條件とし、更に床次遞相は郵便料金の値上げの意圖なきを明白に表明したので結局岡田內閣に於る高橋財政は從來の所謂『高橋財政』に殊更ら修正を加ふる事なく所謂穩健インフレ財政の實現を目標として展開される事にならう

街の日記

精神作興歌懸賞募集

中央教化團体聯合會では日本精神作興歌を懸賞募集中だが歌詞は國体の精華を發揚し新興日本の意氣を振起せしむるもの、その他要項は左の通り

一、長さは五節以下、一節は六行以下、調子は自由とし一般の謳誦に適すること

一、一人一篇、半紙又は美濃紙大、住所職業年齢は記載せず別封のこと、なほ變名匿名は採らず

一、送附先は東京市麹町區大手町一丁目同會作興歌募集係

一、賞金一等三百圓、二等百圓各一名、三等五十圓二名

なほ入選は昭和十年二月十一日附「教化運動」紙上で發表する

泥醉漢 列車內で亂暴

原籍秋田縣山本郡、目下奉天宇治町八番地無職渡邊興助(三[illegible])は一日午後九時十六分新京着列車に泥醉のまゝ乘車、車內で旅客に對して亂暴を働き警乘員なども手のつけやうがなく個室に押込んで新京に到着、ホームでも他の旅客に迷惑をかけて手のつけ樣なく、警官驛詰所に同行說論したが反抗して醉もさめず、知人高井某に午後十一時三十分引渡した

吉田博士の披露宴盛況

十二月一日から新京室町二丁目に新しく吉田醫院を開設した吉田秀緒博士は開院披露のため同日午後六時から大和ホテルに盛大な宴を張つたが、關東軍々醫部長梶井軍醫監、新京醫院長塚本博士、荒木地方事務所長、新京醫院各醫長その他參會者百余名、デザートコースに入るや吉田博士起つて極めて謙讓な態度で挨拶を述べ、これに對し來賓一同を代表して梶井軍醫監謝辭を述べるところあり主客歡を盡して同八時すぎ散會した

けさの最低氣溫

零下十五度七

北鮮視察團の動靜

【圖們】新京驛主催の北鮮視察團一行卅名は十二月一日圖們通過北鮮に入り淸津、朱乙、雄基を視て四日十五時二十分着列車にて來圖し圖們の現狀を見て歸京する豫定▲又日本國民學校の鮮滿視察團一行五十名は十二月四日朝開線により北鮮より龍井に入り同地視察後朝陽川經由、十二月五日二十三時三十七分發國際列車にて敦化に向ひ出發する豫定である

黒田、島田の兩氏 昨日保釋出所

（東京國通）大藏事件に關聯し此の春收容された黑田元大藏次官、島田前臺銀頭取は取調べ一段落により一日保釋を許された、尙今月中に豫審は終る見込みである

【圖們】新京鐵路總局主催の鐵路愛護思想普及の目的をかね、鐵路愛護村民慰安の爲巡廻宣傳に從事して居る滿洲芝居の一行は十二月一日圖們に入り、國際劇場に於て、入場無料の演藝大會を開催、引つゞいて、元帝劇の時代劇幹部女優だつた森千惠子一行三十二名の一座は在滿軍隊慰問並に鐵道從業員慰問として鐵路總局人事課後援を以て十一月二十一日熱河省錦縣を振出しに遠く南北滿一帶を打ち十二月二日チチハルを最後に京圖線に入り吉林經由にて十二月十日圖們に乘込み十、十一の兩日圖們にて開演する

映畫『察哈爾蒙古を探る』完成す

東亞產業協會では今夏同協會より派遣した察哈爾調査班の撮影に係る映畫「察哈爾蒙古を探る」が此程完成したので來る十二月十日午後四時卅分より東亞產業協會に於て映寫會を催す事となつた

新京醫院お自慢の婦人病棟竣工 主任には今出博士が兼任 近く堂々お目見得

滿鐵新京醫院の誇り新婦人病棟がその裝ひも美はしく近く市民にお目見えする—國都新京の發展につれて從來の新京醫院では到底その患者全部を收容出來なくなつたゝめ滿鐵ではさきに婦人病棟の分離を計畫し、曙町三丁目の本院裏に新築を急いでゐたがこのほど漸く竣工、今はたゞ備品の補充その他を殘すのみとなつた、新病棟は工費約十萬圓を要し內容外觀至れり盡せりで、肝腎の本院よりも遙かにすぐれてゐる、こゝに入院するのは特殊婦人ばかりであるが入院患者に取つては他の患者とは全然隔離されて別天地の觀があり、消毒もゆきとゞいて理想的のもの、入院患者定員約百名を收容するに足る堂々たるもので新京醫院大自慢のものである、工事係との引繼も既に終了し本月中旬頃には開設の見込で、その主任には新京醫院婦人科醫長今出博士が兼務し專屬醫師一名が配屬されるはずになつてゐる、同病棟の分離はそれだけ本院の收容難をも緩和することになり一般市民に取つても惠まれるであらう

日米無線電話開通式 盛り澤山なプロ

【東京國通】アメリカ方面への國際電話は遞信省と米國との間に實施準備成り愈々十二月九日を期して通話を開始する段取りとなつたが、之に先立ち八日開通式が行はれることゝなつた、同日は先づ東京ワシントン間を繫ぎ、午前九時（日本時間）床次遞相と米國聯邦通信委員會委員長サイクス氏がメッセージを交換し次いで廣田外相とハル國務長官、次はハル長官とグルー大使、廣田外相と齋藤大使、グルー大使と齋藤大使といふ組合せで通話が行はれる、それより東京ニューヨーク間を繫ぎ今度は專ら通信界を中心として聯合の岩永專務とA、Pのケントクーパー氏、岩永專務と岩本特派員、A、P東京特派員バブ氏とケントクーパー氏、更にU、Pと電通インターナショナルのコンエオリー氏と東京特派員ヤング氏等の組合せで通話を行ひ盛り澤山なプログラムで躍の連絡を行ふ事となつた

南鮮の買註文で營口米活況を呈す

【營口國通】營口附近の生產米は從來殆んど他地への進出不能狀態にあつたが、本年は南鮮地方の凶作のため朝鮮方面より買註文殺到し一ヶ月平均千石位を輸出するに至つたゝめ營口米の名は俄かに有名となりこれがため當地鮮農の梗塞して居た金融も漸次緩和されるに至つた

熱河省林西局も和文電報取扱開始

【奉天國通】電々會社では奧地居住日本人のため着々和文電報取扱ひ局數を增加しつゝあるが、今回熱河省林西に於ける日本人數增加に伴ひ和文電報取扱要望の擡昂つて來たので愈々十二月一日より和文の取扱ひ事務を開始する事となつた、これにより同地居住日本人は多大の利便を得る譯である

大連放送局も滿語ニュース放送開始

【大連國通】大連放送局では從來滿洲語に依る放送が全然無かつたが、今回滿洲國人教化の建前より滿洲語のニュース放送を始めることゝなり十日頃までに滿洲國人アナウンサーを採用する筈である

仙人掌

この程改裝なつた白馬に懸星の如く現れたジャズシンガー小織滿壽美、豐かな腕量とコケテイシュな身ごなしで白馬ファンを惱ましてゐます▲小織滿壽美といつても「あゝあれか」などゝ通がらないで下さい、きのふおひろめしたばかりの名ですから▲東京の東洋音樂學校を卒へて築地小劇場で築きあげた彼女のアルトは川畑文子を想はせます、コロンビヤの專屬歌手として滿洲事變の前夜安東でのボーカル、ソロを最後に去る十月二度の渡滿、堂々と音樂の旅を續けて來た彼女▲新京では滿鐵社會係の主催で衛戍病院、商業、中學兩校などで絶讃を博した正木正子さんです▲大豆の國滿洲に音樂藝術を確立しやうと藝術への燃ゆるやうな熱情でひたむきに精進する滿壽美孃の文化的意圖は壯である▲白馬では毎夜七時から半時間毎に豐なアルトを聽かしてゐます▲即興樂「白馬は招く」に造詣深い作曲の片鱗を見せた滿壽美さんの歌ふドラマチックな「お蝶夫人」は又寂寥な新京の冬の夜にこよないものです

▲山口初次郎氏（老松町一番地）女美智代さん二十五日出生
▲原口晋氏（露月町三丁目六十三番地ノ二）次男勇さん二十四日出生
▲加藤傳氏（郷外路四ノ十四）三十日午前五時死亡

居住消息

轉居

▲命子美義氏（福岡縣）敷島通り四番地ノ六白石方へ
▲上野實氏（鹿兒島縣）ベルビンから三笠町三丁目二十五番地へ
▲大西靜一氏（愛媛縣）蓬萊町一丁目十番地富士屋タクシーへ
▲山口杉雄氏（長崎縣）同上へ
▲小野寺武治氏（岩手縣）露月町一丁目六號ノ一へ
▲小林爲一氏（廣島縣）大石橋から入船町五番地京圖寮三號へ
▲藤村定雄氏大連から平安町三丁目二號ノ六へ
▲淺野三郎氏（岐阜縣）日本橋通り十八番地和登洋行へ
▲佐藤不二男氏（宮城縣）同上へ
▲吉村唯市氏（島根縣）四平街から露月町一丁目三號ノ一へ
▲難波萬作氏（山口縣）吉野町一丁目十八番地長春ヨウ業會社へ
▲森山宣夫氏八島通から日出町三丁目二番地同和俱樂部七十一號へ
▲今泉鐵次氏日本橋通りから入船町四丁目一番地森本方へ
▲松上政由氏日本橋通りから三笠町三丁目四番地カフエーマルセーユへ
▲中村利雄氏同上
▲中牟田一氏祟智路から東二條通り七十番地日滿食堂へ
▲甲斐義成氏石碑嶺から永樂町三丁目一番地へ
▲森永種雄氏室町から義和胡同電々社宅七號ノ四へ
▲中村昌三氏白菊町から日本橋通り十八番地和登洋行へ

經濟の確立には庶民階級が立役者

資本家のためのみに作らる統制經濟でない

從來の統制經濟に關しとかく等閑視されてゐた庶民階級並に各產業部門別の勞働組合結成について中野正剛氏は次の如く語る

統制經濟國家は決して官僚と資本家の爲に作らるべきものでない、勞働者、農民、勤勞

階級の 力を善用し、此等の利益を重要視するの必要は論を俟たない所以である、是に於てか統制經濟確立の爲にも、勞働者、農民の集團的結成は之を閑却することは出來ない、各產業の業種別に企業組合を作らしめて、國家がこれを公認すべきは曩に述べた通りであるが之と同時に

各產業 の部門別に勞働組合を結成せしめ、國家がこれを公認して團体交涉權を與ふべきは勿論である、而して勞資雙方の團体交涉で纏らない時は兩者によりて構成せらるる經營委員の議に掛けねばならない、而してそれでも纏らぬ時は國家權力を出動せしめて

勞資相 方に對して公正なる判決を下さねばならぬ、併し其の判決も單なる下し放しであつてはならない、例へば或る種の產業にストライキが起つたとするさうして勞資の意見がどうしても合致することが出來ない此時に當りて國家的見地より考察するにその產業に

國家に 必要なるものであつて、公的見地から潰してならないものである、然るに眼前の經營は金融上の困難に逢着して勞働者に正當の報酬も拂へなくなつて居る、即ち放任すれば正に潰れんとして居るのである、斯かる場合に際しては、經濟參謀金融統制委員、それ等の人々は此產業に働き掛けて其の

倒壞を 救ふてやらねばならない、さて國家が手をかけて援け起してやる以上、企業家に對して勞働條件を規定せしめねばならない、之に反し勞資の爭ひとなれる他の產業が所詮潰れて仕舞はねばならぬ種類のものゝ所詮

存立性 のないものであるならば、其の取り崩しの過程に於て勞働者の首馘りも已むを得ない、併し首を馘られた勞働者は切捨て御免で捨て置く事は出來ない、乃ちそこに國家の職業紹介所は積極的に出動して他の產業部門に向つて勞働者の轉業を可能ならしめねばならぬ、斯の如く國家は產業そのものの興廢に對し

各種の 手段を盡すことを前提として、勞資問題に對する最高の判決を下さねばならぬ、而して此の判決によるこの命令は、國家の最高至上なる命令なるが故に、自由主義下に出來上つた階級鬪爭の指導原理を放擲し、資本主義家も勞働者も舊套に屬する一切の反感を淸算して國家の

統制に 服しなければならない、既に國家がこれまで進んで勞資双方の利福を斡旋する以上、勞働者も資本家も國家生產力の中絶を來すが如き破壞行動は一切禁止せらるべきである、而し勞働者と企業家とは共に平等の立場を有せらるる國家的要素として國民協同體の

有機的 職能を完成せねばならない

農村疲弊問題と我國民經濟の將來

人口過剩は問題でない 矢野恒太氏談

農村疲弊の問題と共に我國民經濟上將來を懸念されるのは財政の問題である、周知の如く近年我政府

財政は 非常な膨脹を示してゐるが、之は諸種の事情から避け難きことであつたのである、また一面から見れば歡迎すべきことでもあつた、併し現在の如く政府所要經費の約半分を公債に仰ぐやうな狀態が長く續けば國民經濟の何處かの方面に破綻が生じて來るのは必定で現狀のまゝ推移して行けば恐らく通貨制度に破綻が來るだらうと思はれる、一度ひ

幣制が 大混亂に陷れば國民經濟が根底的に攪亂されることは大戰後の列國の經驗した所で、此の種の惡性インフレの害毒は實に想像を絶するものがある、故に之を未然に防ぐ爲に財政の均衡を圖る必要が各方面から叫ばれてゐるが、諸種の事情が纏綿してゐるから其實現は容易ならぬ事である併し容易ならぬと云つて何時までも棄て置けば折角發展の緒に付いた

我產業 は根本的に覆さる危險がある、要するに我產業の現狀は世界に於て甚だ特異の地位を占め世界不況の眞只中に於て貿易は甚だ好調を示してゐるが、其根本原因は我國の

人口過 剩にあるのである、故に我產業は現在の如き發展方向を辿るの外なく、また將來も躍進し得べき條件は十分具つてゐる唯此處に暗影を投ずるものは農村疲弊の問題と財政の將來であるが、此兩問題の解決方法さへ誤まることが無かつたら今後我國の

工業が 益々發達して、現在の過剩人口が全部効率高き仕事に從事し得るやうになれば、日本は工業的に世界に於て最も強い國の一になり得ることは疑ない、斯くて從來我國の苦惱の種であつた人口の多いと云ふことが、却つて我產業の發展に幸ひし、富國の基礎となるであらう、人口過剩の現象は既に久しき以前から我國に存したに拘らず、最近に於て我產業の國際的地位が急角度に變りつゝあるのは

維新以 後我產業は長い間準備時代であつたのが、今や其時代を經へて漸く發展期に入つたからである、世界大戰中に於ても我產業は一度發展期に入つた樣な傾向を見せた事があつたが當時は準備が不足であつた爲戰後歐米諸國の產業が復興すると忽ち蹶倒されて了つたのである、そこで我產業は苦境に陷つて

更生の 努力を續け、今や機會を得て底力ある發展に向つたのである歐米の產業は歷史が古いだけ今や硬化して了つて生々潑剌の氣を失つてゐる、然るに我國の產業は若々しいだけに活氣に滿ちてゐる單に此の點だけから云つても我產業の前途は甚だ有望であると云ひ得やう、今や諸外國は我

輸出の 防遏に大童となつてゐるが、結局値段の割に品質の良い品が後の勝利を得るのは明かで、產業さへ發達すれば人生必要のものでない限り、販路は努力により開拓し得るものと信ずる

"實現を速かにし財政の危機を救へ"

―法學博士美濃部達吉氏談―

內閣直屬の大諮問機關として國策

審議會 といふやうなものを設けようとする噂は早くから傳へられてゐたが、政府は愈々これを設置することに內議を決し、近く開かるべき臨時議會に其の經費豫算を請求する筈であるといふことである、それが果して眞に實現せらるべきや否やは、なほ未定の問題であり、政友會は黨議を以てこれに反對することに決したとひそれが設けられたとしても黨からは全く委員を出さないことに定めたといふことであるから、その經費豫算が議會を通過することは、甚だ覺束ないことであり、又政友會から委員を出さないことになれば

政府が その設置によつて政友會の反對を和げようとした目的は全く達せられないことになるのであるから、政府の決意に拘らず、その設置は或は遂に流產に終ることとなるかも知れない、しかしさういふ機關の設置が現在の日本の情勢において果して望ましくないかどうかといふと、私は眞の構成の如何に依つては、頗る望ましいことと思ふ、今日の日本の情勢において、國家の爲に眞に憂慮に堪へない事柄は一にして止まらない

第一に 憂ふべき所としては、數年來年々六、七億に止まる歲入不足を生じてゐるに拘らず軍事費の要求は益々膨脹する傾きを有つて居るのみならず圓價の低落に基く爲替差損金や時局匡救費もいやが上に歲出の膨脹を促し、何時收支の均衡を得るに至るかの見込も立たない、若しこのまゝで自然の成行に放任するならば、財政の破綻は恐らく避け難いであらう、其の結果は極端なインフレーションの害惡を來し、全中產階級の破滅を來すことが無いとも保し難い、此の危險を救ひ、財政の基礎を安固ならしむることは

一大藏 大臣の權威に依つて之を期待することは困難でありそれには朝野の權威を集め、軍部の諒解をも得て、將來數年に亘る財政國策を樹立し國防の要求と財政の能力とを調和し、行き將來において收支の均衡を得べき計畫を定めることが是非望ましい

第二に憂ふべき所は、地方

農村の 極度の窮乏である、これは今日に始まつた問題ではないが、其の窮乏は年を追うて益々甚だしきを加へ、今日においては普く朝野の熱心な注目を惹いて居る所であるが之が對策を如何にすべきかは決して容易な問題ではなく、それには經濟機構の根本にまで立入つて研究する必要が有る、而してそれにも朝野の權威に依つて、將來の經濟國策を樹立するのでなければ之を期待することが望み難い、併しながら、經濟國策は決して單に農村振興策のみを以て滿足すべきではなく國際貿易戰についても、各國それぞれ高い障壁を設けて、外國商品の

輸入を 制限せんとする傾向が甚だ强いのであるから之に對應する爲には、當業者の自由に放任し難く或る程度の國家的統制は避くべからざる所であり、それにも權威ある國策を定立することが望ましい、我が國の外交方針に至つては、我が國策は夙に一定し、協和外交を以て一貫せんとすることは、不動の國是を爲してゐるのであるが、尙一部の方面からは頻りに國際的危機が高唱せられて國民は何時戰爭が起るかもしれぬといふやうな危惧に襲はれてゐる

張家口における外人の活動

ソ聯機關は日滿機關の內偵

張家口に於ける外人の數は現在約二百五十名程あり市內を逍行するに外人の男女に遭遇すること多く旅行者等を加算すれば三百名を突破するものと推斷される、外人中最も多いのは地理的關係上ソ聯人でその數約百五十名と稱せられ白系に屬する避難者は約七、八十名次にドイツ人、ラトヴイア人、ノルウエイ人等多く天主敎方面にはベルギー人が多い、英米人は比較的少數である

ソ聯關係

ソ聯領事館―本年七月初めより開館準備に着手したが察哈爾省主席宋哲元は極端な赤嫌ひでこれがため開館意の如くならず橋本日本領事の斡旋により八月一日やうやく開館したが、その後支那側の對ソ感情も次第に好轉し省政府要人とソ聯領事館員との往來も頻繁となつて來た、領事デメンチエフ氏(四十五歲)は表面非常な好紳士で家族を携行して居るが書記生等は居らず、外蒙方面の情況は口を緘して語らない、張庫街道(張家口―庫倫)を往復する自動車及び積載荷物も烏得において必らず積替へを行ひ極端なる秘密主義をとりつゝあるがその理由は概ね左の如く推察されて居る

イ、外蒙の內部的事情の外部に漏洩するを惧れて居ること

ロ、軍備內容頗る不統一なるを以てその內情窺知を警戒しつゝあること(庫倫烏得間には軍隊の駐屯なく庫倫北方に多し)

ハ、外蒙に於いて蒙古人の暴動屢々勃發して居るがその眞相の外部漏洩を惧れること

ソ聯領事の任務は四圍の情勢より見て商權保護、居留民保護よりも寧ろ日滿各機關の內情偵察にあるものと思料される節が多い

總華洋行―一見ドイツ、支那の合辦會社の如く考へられるが本洋行は全然ソ聯の御用商人ともいふべきもので資本金五十萬圓と稱し支配人はラトヴイア人アダムス、バービス副支配人はドイツ人ポーエルで外蒙よりの毛皮の買出し整理及び輸送を擔當しつゝありトラツク四、五台を有して居る

アメリカ關係

アメリカ病院―系統は上海アメリカ病院の分院と稱しまた一說には北平協和醫院の分院でロツクフエラー系と言はれて居るが詳細は不明である、最近までアメリカ人の醫師が居たが現在では支那人醫師醫療に當り評判は餘り香しくない、本病院は內蒙古進出の遠大なる計畫の下に設立されたもので省政府要人、外人等より莫大なる寄附を受け規模極めて大である

スタンダード石油―他地方と同樣アジア石油と對抗して販路擴張につとめつゝある

イギリス關係

英米煙草公司―現在アメリカ人が管理して居るが省政府に對しては多額の稅金を思ひきつて上納しその稅金はまた遠慮なく購入者より取立てゝ哈達門や前門、ルビークキン、スリーキヤツスル、芳牌、司大飛等主要なる煙草は總て該公司の販賣にかゝり他の煙草會社の追隨を許さないものがある

アジア石油―スタンダード石油と販路擴張にしのぎを削つて居る

フランス關係

張家口々北鹽務收稅に佛人ゼクラーあり支那人鹽務官吏と共に鹽稅を徵收しつゝある

宗敎關係

一、メソジスト敎に屬するキリスト敎會三ケ所あり、ともにアメリカ人の經營に屬して居る

二、天主敎々會堂は二ケ所あり、一はフランス人、一はノルウエイ人の經營である

三、張家口の西北奧地においては蒙古人を信者とするキリスト敎會堂及び支那人を信者とする天主敎會堂多數散在し特に後者はベルギー宣敎師が多い

男女の身賣、

思想的啓蒙によつて傳統風習を打破せよ 中川善之助博士談

近頃東北地方の凶作が喧しくいはれ、續いて

娘の身 賣りを防止しなければならぬといふ聲が高くなつて、全日本の視聽を集めた形である、しかし昨今の凶作程度は特に悲慘なものであり、從つて娘の身賣りも格別眼立つほどに激しいには違ひないけれども、他の地方と比較して事を論ずるならば、實は東北地方は毎年凶作で、毎年身賣が盛んなのである、東北凶作、身賣りといふ言葉は殆んど同一物の兩面だといつてもいゝ位に思はれる、人々は秋が來るので凶作を知るのでなく

凶作が あるので秋を知るようなものである、土地についても氣候についても生產的條件が惡いとなれば、人々は先づ必然的に人口を矢たらに殖やさないことを企てる、しかも人智開けず生殖の理に暗い彼等にとつては、謂はゆる「間引」より外に手段が見出せなかつたのも極めて自然であるといはねばならない、身賣りは女ばかりではなく、男もする、男の身賣りは一種の農奴制である南部藩などには名子といふ名で古くから行はれ、幾らか變形こそしたが今日でも行はれてゐる、尻屋などでは今でも男の

子を買 つてゐる、五六年前私が行つた頃にも十二才の男子が百廿圓で買はれて來た、買りに來るのは津輕地方の男だといつてゐるが、津輕へ行くと人賣りは南部から來るといふ、女の身賣りにも勞働力のために賣買されるのがあるけれども多くは享樂のための賣買である、この方が金になるから身賣りの本旨にはよく合ふ、體力などにも余り注文がない東北の娼婦は昔から「雁鍋」といつてかなり盛んであつたらしいが、その賣買價格は色々で一樣にはいへない、しかし凶作の程度が强い年ほど

値下が りがして、三年ほど前に私が志津川の方へ行つたときには、娘二人を仙台まで賣りに行つて、周旋屋に禮をし自分も一杯飮んで歸つて來たら何も殘らなかつたなどといふ話さへ聞いた、二十圓位でさへ我が子を手離す親があるといふのだから驚く親の方でも娘を賣るのは親の權利だと思ひ、娘の方でもこれを孝行だと思つて賣られ行く身に自己陶醉を覺えるやうな世話物型が珍しくない、女中などでも身賣り的なのが少なくない

女中は 五十圓か六十圓の前借で來て、前借金は親が持つて行つてしまうので、女中は鼻紙一枚買ふ金がなく、結局雇主から追借をして年季を延ばすことになる、凶作の方はまだ農耕技術と法律の改良とで何とかなるかも知れない、しかし身賣りの方は親と子の思想的啓蒙からして先づ出發しなければ東北地方の身賣りは防ぎ切るものでなからう

時の話題

國際外交花形 バ佛外相

ドイツとの軍備平等を近く承認せん

今や一九三五、六年の危機を前にして世界は鐵火の試練に狂奔してゐる、墺國の反亂を契機として歐洲の政局は正に大戰前後の混亂と危機を思はしめて居る、國際外交戰は頻々と錯綜し、軍縮準備交涉を初めとしてヨーロッパ安全保證問題、東歐相互援助條約問題、ソヴエットの聯盟加入問題、佛ソ同盟

墺國獨立 保障問題等々と歐洲の天地は極度の危機にさらされてゐる、之等の諸問題に就いては何れもバルツー佛外相を除いては語る事が出來ない、特に最近に於けるソヴエットロシヤの國際聯盟加入問題に於ける彼の外交手腕は正にヨーロッパ外交、否世界外交舞台の花形と云つても過言ではあるまい、佛ソ同盟密約が傳へられて伊太利その他の

小協商國 の躊躇逡巡反對の氣運漸く濃厚となつたとき、これを巧に押し切つて國際的に自國を有利に導いた老練なる外交手腕には列國共たゞ驚嘆するのみであつた、現時の戰雲深く包む國際外交に於いて終始一貫して彼程に職の尊さを示してゐるものはなはオーストリア、ナチスのクーデターに際して伊太利は直に國境に

軍隊を集 中して對獨牽制の擧に出でこれに對してチエッコも出兵の氣勢を示し正に戰爭の發火點に達したごとく見えたが、フランスは之に對して表面無關心な態度を持し、これを機としてバルツーの東歐相互援助條約の强化策に轉化せしめた、バルツーの外交政策は武力に依る威嚇なくして所謂外交手段に依る安全保障がその根底となつてゐる

それ故に 危險視されつつも巧妙にソ聯邦を聯盟に加入せしめ得たのである、この保障に依つてバルツー外相は來るべき軍縮會議にドイツの軍備平等權を承認せんことを準備しヨーロッパ外交の危機を切り拔けんとしつつある、之れに對して虎視たんたんとしてフランス外交の裏を行かんとするものに歐洲のダークホース伊太利がある、然しバルツー

外交の鮮 かな手腕は伊太利に乘ぜらるる稚な虚を見せない、かくしてバルツー外相はヨーロッパ外交の花形として東奔西走し彼の活躍に拍車をかけるものは資本主義それ自體の矛盾であり國際危機の切迫であるフランス外交は無力化しつつある

國際聯盟 の孤壘を死守するであらう

新毒ガス發明

米國のユー、エス、ゴム會社のケーデ博士は今回化學上最も恐るべき殺人力を有した毒ガスを發見した、該ガス發明の動機はマサチユツツ州工業研究所で弗素應を研究中に低溫試驗を施したものである、特徵を述べると、少量の時は嗅を出すと肺臟を刺戟し、濃くなると爆發するといふ恐るべきガスである、これに臭氣を有し熱を加へると爆發するのでこれを戰鬪に用ふるならば戰鬪員、非戰鬪員を問はず一網打盡に斃りさることが出來るものといふ

三つ子の魂百迄
"理想な母"の意義
重大視すべき親子の問題
母の會理事　霜田靜思氏談

昔は家庭の團欒の場と父の仕事場とが一つであつた、今では殆んど家庭と仕事場とが別である、そこで母の立場は昔より重大になつたと思はれる　昔の父の立場を今では母が兼ねなければならない、時には父の代りのきつい母に、時には優しい母に、母は如何なる風になすべきか、先づこゝに所謂問題の母と云はれる性質の母に就てのべてみやう

小言ばかり 絶へない母がある、これは子供にうるさがられる、餘りひつきりなしに云つてゐては果てしがない　子供は子供なりにやはり色々考へるものである、そこで叱るとき子供のした表面のことのみをみてどうかう云ふものではない、なにもかも自分の氣に入る樣にしなければ氣がすまないと云ふ母これは子供は母の前だけからすると云ふ

風な結果 になる、自分のすることに無理ができて來る、そこで仕方がないから親の前だけ繕ふと云ふ風になる僞善者を作る事になるその結果子供が不良になる例は少くない、親が知らない中に子供はとりかへしがつかない樣なものになつてゆくのである、嚴格な家庭によくあることである、子供がすべてを打明けて話す樣なそんな風にならねばいけない、年をとつてから出來た子や祖母が育てた子によくみ受けるものである、子供の

思ひ通り にしてやつても、世間はさうしてくれないから次第に不平家になつてしまふ、或は人と交際しなくなつたり碌な結果をもたらすものではない、男の子は嚴しい家庭から不良になり易い、女の子はあまやかしすぎた家庭から不良になりやすい、女の子は積極的に反抗したりせぬ、自分の思ひどほりになるとますます欲望がさかんになる、欲望をおさへることを知らなくなり遂に不良になるのである、母にお菓子を

ねだつて ゐた、『今日はもうおしまひ』、『もう一つ頂戴』、『おや、もうこれつきり』、こんな有樣をくりかへすのを見て或西洋人が、日本人は子を可愛がるときいたがこれでは本當に可愛がつてゐるかどうか疑問だ』と云つた、無理な要求をしてはいけないといふ事を小さい時から敎へ込まねばならない、一口に云へば子供の愛し方が賢明でなければならない、決して賢明ぶる母であつてはならない、子供を

理解する のは簡單な樣で難しい、子供を理解するのには縱から横から見なければならない、習慣は第二の天性、三つ子の魂百まで、これは心理的にみてあきらかなことである、研究によるとさうならねばならぬ必然性がある　而して子供が大勢の友達と一緒に遊んでゐる中に道德的に進歩すれば、社會的にも發達する

その意味 で家庭が協力して兒童を導くことが大切である

良兒を望まば 二十臺で結婚
三十越えての子供は弱い

丈夫で頭のよい子供を望む人は、どうしても二十臺で

結婚し て子供を産む樣につとめなければなりませんつまり堅實で優良な子供は父母の体質の最も完備した壯年期、いひかへれば生氣に滿ちた時でなければ望み難いのでありますし、昔から田舍で生れた子供よりも体も丈夫で頭もよく結局多く成功してゐるといふ事は、この二十台の結婚が優生學上どんなによいかといふことを事實の上に示して居るのであります、我國の婦人の

月經期 は平均滿十四才十ケ月から四十五才七ケ月といふことになつて居ります、その間の約三十年間は姙娠に適當して居る時期であります、しかし滿十七才未滿で産んだ子供は母親の身体の發育が充分でない爲に生れた子供は間もなく死ぬか、でなければ腺病質や低能などで完全な子供を得ることはきはめて稀なのでありますそれから母親が四十才を過ぎて産んだ子供はやはり十七才未滿で産んだ場合と同じ樣に虛弱や變質などに陷り易いのであります、また夫婦の齡が餘りかけはなれて居るといふこともよいことではありません、かういふ夫婦の間に生れた子供はやはり虛弱かあるひは能力不充分でその他早産や死産などを起し易く從つて

完全に 育つものはきはめて少いのであります、從つてやむを得ないこととはいひながら現在の樣に十才も違つた人と結婚したり、あるひは三十才をすぎて結婚するといふ樣なことはよい子孫を殘すといふ點からいへば第一に憂ふべきことであります、以上のやうな意味合から婦人の最もよい結婚年齡をあぐれば、滿十八才から二十五才までといふことになります、この時期に一度分娩をしておくと三十才をこえて姙娠した場合にも特殊の障害がない限り、難産する樣なことがないのであります、むろん丈夫で頭のよい子供を望むためには精神狀態や榮養といふ樣なことが密接な關係を持つて居ることはいふまでもありません、しかし其第一は

二十歲 台で結婚するといふことです、さうすれば齡の差もそんなにへだたりがなく、また父母の生氣が滿ちて居るのでよい結果が子供の上に現はれてくることになるのであります

野菜皮の佃煮

野菜物の皮は、身よりずつと榮養價に富んでゐる事はどなたも御存知でせう、只ていざいが惡かつたら、こそばゆかつたりで剝くことがありますが蓮根、大根、人參等の皮を集めて極く細かに刻み鰹節を入れて甘からく煮つめると榮養價の高い大變おいしいつくだ煮が出來ます

通交を緩和する "河床"の車道
英國マーセイン河底の偉觀

英國の工業地帶リヴアプールとその對岸のバーケンヘッドを流れるマーセイン河を掘り拔いて自動車用の最新式河底隧道が開通したのは先般のことであるが六日達した後報に依ればこの隧道は全長二哩三マイル、リヴアプールとバーケンヘッド兩市間を頻繁に流動する自動車の交通を緩和する爲のもので、その設備の優秀さは從來あるどの自動車専用隧道よりも嶄新の施設がされてゐると稱せられてゐるこの隧道の内部の直徑は四十四呎に及び、その鑿掘開隧のために百二十萬トンの岩石が河底から運び出され、そしてこの工事には八萬二千トンの鐵材が用ゐられたと云ふことから、稀に見る一大工事であつた、尙隧道はバーケンヘッドの側からリヴアプールに向つて河底を貫き、シドニー、ステーション換氣塔から送られる新鮮な通空管等は實に曠古の素晴らしいスケールを持つてゐる、なにしろ二哩余にわたる河底隧道のことであるからその換氣通風裝置が最重要問題である、そのために河の兩側に三ケ所都合六ケ所の換氣塔が設備されてゐる

フヰルムの—
音響を亂す 觀客の衣服
米國で禍因除去を考究

トーキーが出現して損害を被つたのは日本の說明者や樂士許りではない、ずつと以前からアメリカの映畫館經營者たちは、その館內の音響の效果について些かならず頭を惱まして來たが各州聯合會所內の音響學硏究所では映畫館の音響效果を硏究して、トーキー、フイルムの音響は壁面のみでなく、坐席の被裝の種類や觀客の衣服や靴等にも關係することを認めたと云ふが、まさか觀客の衣服を規定するわけには行かないが、壁面を完全に音響を吸收するやうに改造するには莫大な費用を要するので椅子の被裝だけでも變へるのが當座の方法だとして同硏究所の硏究では將來はある種の石膏が最も有效な音響吸收材となるであらうとしてゐる、日下銳意硏究中である、尙、同硏究所ではトーキーと衣服との[illegible]效果に及す因果關係を除[illegible]爲め、近く新に學理的[illegible]究め全米映畫ファン達に懇願的自省を促す外それには飽く迄顧客の觀賞心理を促へ上手に映畫藝術の價値を知らしめ自發的に衣服に留意せしめる

鏡台の置き方 誤るとお顏の敵です

鏡台を置く時は鏡に片光線にならぬやう、又鏡に光線が直接に當らぬやうに据へなければなりません、そこで鏡はならうことなら北側に置き鏡を南に向けますと北の光線は動きはありませんから化粧をするのにむらむら寫りがしませんから都合がよいのであります、若し北の光線がうまく取り入れられぬ時は、東の光線でもよいのですが、何れにしても座る体の後方から光線が平均して來るやうに位置をきめねばなりません、鏡と人との間はつかず、放れず、程よき加減をよしとしますそれにはぴたりと座つて見て体と顏を眞直にしたまま正しく鏡面に寫る位置でなければなりません、よく鏡を覗き込んでお化粧をしてゐる人がありますがあれでは反つて出來上りの惡いお化粧になります、そうして間違ふなら寧ろ放れ過ぎて鏡に向ふことをお歡めします

師走お料理 長崎汁
—五人前の作り方—

豚肉　五十匁　葱　一本
大根　五十匁　赤味噌五十匁
ニンジン三十匁　煮出汁適當
牛蒡五十匁　胡麻油大匙三杯
椎茸　五個　生姜　少々

豚は適當に切り、大根と人參と牛蒡は觚切りとなし、椎茸は水にひたし軟かになつた時繊に切ります、葱は細かに刻んでおきます、鍋に胡麻油を煮立て大根、人參、牛蒡、椎茸を入れよく炒りいためましたら、これへ適當の煮出汁を加へ、豚を入れてしばらく煮、野菜が軟く成りました頃濾味噌を加へて、尙よく煮、野菜に味がしみて來たと思ふ頃、火から下して器に注ぎ入れ、葱とおろし生姜を上置にして供します

秤なしで手紙の料金を計る法

「三錢切手一枚で大丈夫かしら」と思はれるやうな手紙でしたら物差の中央を糸で釣り、左右同じ寸法のところに一方に手紙一方に十錢白銅四枚(約十五瓦)をさげて重さをくらべてごらんなさい、そして手紙の方がさがつたら切手を二枚はらなければなりません

日本刀の話(六)
梅枝町　秦大川述

古今鍛冶備考は比較的間違のない銘鑑である一說に左衞尉源安吉と號すと書いてある是れも確とは分らぬが大左が安吉と云つた事があるらしく愚ふそこで吾等の考へがある左と稱した事はどういふ譯であるか左衞門三郞の左の一字を取つたものと吾等は思つてゐた處此頃一異說を聞いた駿河久能山の東照宮の總御門番といふ役がある家康の運命にて代々榊原越中守が勤めた祿千八百石この榊原の家に珍らしい古文書があつてその中に左文字の由來がある即ち左の如し左が鎌倉まで遙々下つて

正宗 の門に入つたのを正宗殊の外歡び交遊極めて親密であつた三年許り毋て今は歸國すると云ふとき正宗共に名殘を惜しみ左も亦戀々の情に堪えず正宗さらば義澤まで送らんと打つて出たが義澤にて袂を分つに忍びず小田原まで行きこゝでも別れかねて打連れて箱根山を越へてたらたら三島まで送つて愈々別れるとき兩人手をとつて淚にくれ正宗はまた逢ふ事は期し難しせめて此を吾記念と思ひくれよと左

文字 の袖を斷いてやつた左文字は大いに歡ひその袖を受けて歸國したそれより正宗が左の袖を斷いてくれた芳情を忘れじと刀の銘に左の字を切つたといふ說である當時の人は皆眞摯で飾り氣がない何事もありのまゝであつたから斯ういふ事もあつたものと思ふさうすれば左と稱したのは鎌倉より歸りた後の名であるその前は何と稱したか即ち安吉と稱したのではないか後にその名を吾子に讓つて

安吉 がある愛刀家諸君御考へもあらば敎へを吝みたまふな

江戶繁慶に就て

神田白龍子勝久は新刀鑑定家の鼻祖にして且つ斯道に於ける先輩の第一なり勝久ことの外繁慶を稱美して曰く繁慶其身一代の鍛冶にて自然と刀を鍊ふ事を好み人を望みに任かせて之を與ふ新刀第一の上作物切れの隨一世能く出來たるは左の國弘が作を見るが如し地鐵はだ黑く燒刄しろく見ゆるが如きあり多く鍛へざるに依つて此作世に少しと言つてある鎌田魚妙は

勝久 が繁慶を新刀の第一として虎徹の上に置きたるは過分なりと少し異議の意を漏らしたれどさりとて反對せし程でもあらず吾等は繁慶を以つて第一とし其の次は虎徹國廣忠吉の順に思ふ彼は要するに作品極めて少きを以て世人も硏究すべき資料得難く故に繁慶の眞僞を判ずる者世上極めて少し此の作には目利の上に多少の口傳あるが爲めなるべし吾等とても繁慶鑑定の卒業者なりとは言はざれども

師傳 を得たる上十數年來二三刀見る事を得たるを以て其の眞僞を判するに於ては毫も躊躇せざるなり繁慶は三河の人なりと言ふまた一說には駿河のとも言ふ時代は慶長より寬永頃といふ說を是とすべし初め家康公より招かれて駿河に於て鐵砲を造る彼は鐵砲鍛冶の名を演堯と言ふ上手を以て世に聞へたれば府中に工場を設け彼をして鐵砲を造らしむたまたま越前の下坂南記の罪國鄕も家康公に

召さ れて府中に來り繁慶の工場に於て刀劍を鍛ふこの時家康公より繁慶に八王子炭千俵毎年給與されしと言ふ下阪名を賜はつて康繼と言ふ繁慶は康繼重國と同じ工場に在りしを以て自然と鍛刀の術を見習ひしものなるべし彼は刀鍛冶を以て業とせず職業はどこまでも鐵砲鍛冶にして刀は所望者の求めに應じて之を作りしなり故に其作は至つて少きなり家康公薨去の後康繼は越前に歸り重國は紀州公に

抱へ られたれば繁慶一時八王子に住し其のゝち門人を率いて江戶小傳馬町の近傍新開地に家造りて住すと言ふ彼は有名なる鐵砲鍛冶にて其門人も共々此處に住せしを以て誰いふとなく其町を鐵砲町と呼ひしなりこの頃の事には二代將軍秀忠公繁慶よく刀を造ると聞召して命じて一刀を造らしむ其刀殘りて來りし時將軍本阿彌を呼ひて彼が造りし刀を見せたるに是れは相州正宗にて候はんと言ふ否新刀なりと言へば

新力 にもせよ陰陽五行の鐵を鍛合せたる名作にて候へば正宗に少しも違ひこれなく候と言ふ將軍やがて繁慶を召して汝が造りし刀を本阿彌に見せたるに正宗の造りと言ひしぞと言へば繁慶正宗風情と同じ樣に見られ候ては口惜しく彌と答へしと言ふ彼は自信の深き自負の高き此一言にて知るべし江戶の繁慶に就て彼は豪放にして操行を修めず毎夜近傍の吉原遊廓に赴きひやかしするを

樂み とす當時城下の壯士の辻斬をなすもの多し繁慶其の兒人下に斃れたりと言ふ之れ某の期する處にして事實果して然るや否やを知らず繁慶が作りの特徴を言へば即ち左の如し繁慶の刀は多く廣直刄にて地は少し黑ずみて刄は白く匂深し刄樣は柾目を持ち切先少し長く反少し中心は下の方兩方より磨合せて藥磨なりに造るこの作の最も見處は中心の鑢目あり鑢目少しにても亂れたるは

正眞 にあらず中心の宗角也一方檜垣ヤスリ裏は左ヤスリなりマチ高し故にマチ際の中心細し銘は彫銘にて字大きく至りて見事なり鋒子は刄廣く一枚帽子の如く見ゆるもあり物打のあたり棟燒あるもあり繁慶は國廣よりも虎徹よりも少きを以て鑑定家を以て自任する輩もこの鑑定を往々誤ることあり曾て先生言ふ本阿彌忠怨の話に繁慶は至つて稀なる物故素人の目利者には分り難し自分共職業と致して居れども

繁慶 の正眞と思ふ物三刀見たるのみ其他は疑はしき物なりと語りし事あり

新版 江戸八景（新京上映）

行友李風氏作　銀平畫

一二三七　旗本くづれ　五〇

瀧川 駿

不斷の饒舌（六）

「あッ」

と、お八重は悲鳴を上げた。

「お。」

と、次郎太と一緒に、眼を、みはつて、若い者を呼んだ。

「兄い衆、灯を。」

お八重は闇中に一驚慌つて、苦しさうに、のた打廻つた。

遅れ走せに、駈寄つた白金一家の若い者が、

「犯人を仕止めなすつたか。」

と覗き込んだ。

「灯を、灯を、―」

と、次郎太は。

「あいさ合點。」

と若い者は、家のなかへ取つて返した。

――お八重は、苦しそうな息使ひだつた。次郎太の一撃が、致命傷になつたやうだ。

若い者が、灯を運んで來た。次郎太は、暗闇で、自分が長年探し廻つてゐる、それがお袋のお八重だと知らずに、背後から拘へてゐた。と、灯が、颯とお八重の顔にさした。それと同時に、

「やッ」

と、次郎太の魂消えた聲。

「お、お袋!」

と、次郎太は、胸一杯に。―聲が出なかつた。餘りの事に、涙さへも―。

「お、次郎太……。」

お八重は、顔を擡げて、微に呼んだ。

暫らく息のつまるやうな沈默があつた。―俄に、次郎太の眼から涙が堰を切つたやうに溢れて來た。―次郎太は大聲で泣いた。

八重は、その聲、がつくりと呼吸が絶へて行つた。―

「お袋!」

と、次郎太は堪らなくなつてしがみついた。長の一生を倖に遁つて、探し廻つてゐたお袋に、願ひが叶つて遭つた時には、お袋は冷たい屍なのだ。それも自分で手にかけて、殺したのだ。―次郎太は氣が狂ふかと思ふ程だつた。

「お袋、お前さんは何故、こんなところに居なすつたのだ。」

次郎太は却て、お袋が恨めしくなつた。

「お袋、この次郎太は、お前さんに焦れて、今日が日まで、お前さんの後を、探して歩いてゐた―そのお前さんが、このわッしに、ほんの一と言で、こんな姿になりなさるとは……」

と、次郎太は、恥も外聞も忘れて。―

「お前さんがこんなところに居なさらうとは、わッしは知らなんだ、知らなんだ―」

と、次郎太は頭を抱へて、口惜しがつた。

「この次郎は、お前さんに遭つて親子三人、睦まじく暮らすのをたつた一つの希望にして、―このお前の年月生きて來たのに、そのお前さんに死なれて、この次郎は、これから先に、何を希望に生きて行くんだ。」

と、冷たくなつたお八重に、頬をすり寄せて泣いた。

次郎太は、お袋が、こんな所に居るの不が思議だつた。いつの間に、秩父の山奥から、こんな所へ來たのか。それが分らなかつた。

―それは讀者と作者より知る者がない。それに一貫子老人と―

如何に、娑婆は無情だとは云ひながら、自分の恋ひ焦れてゐる、たつた一人のお袋さんを知らぬ、事とは云ひながら、我が手に掛けて殺すとは……。自分ながらも次郎太は怖ろしくなつた。

あれほど苦しんだのに、この穏かな死顔―。次郎太は、今は涙もなく、呆然と眺めてゐた。

十二月三日　月曜　戊申　赤口　收　畢宿　舊十月廿七日

- 一白の人　定業に安んじ著實なれば天惠自ら廻り來る　申と辛と寅が吉
- 二黒の人　愼重に行動すれば益々發達を呈すべき吉日　丙と庚と辛が吉
- 三碧の人　交渉事は總て當てにならず又人を頼るは凶　甲と乙と寅が吉
- 四緑の人　家事を整へて他事に心を移さゞれば咎なし　丙と丁と寅が吉
- 五黄の人　辛苦奮闘すれば次第に發展を見る病難注意　甲と丙と丁が吉
- 六白の人　次第に勢力の加はる日眞面目なれば福多し　丁と庚と辛が吉
- 七赤の人　物事自由に振舞ふときは過ちを起し易き日　甲と乙と丁が吉
- 八白の人　衆人の引立多大にて存外の進展を見るべし　丙と丁と庚が吉
- 九紫の人　業務振はず爭論訴訟の起り易き日自重せよ　甲と申と庚が吉

作物學上から觀た 東北冷害批判（下）

作物の生態區と稻の品種問題

東大農學部教授　佐々木喬博士

東北地方は内地中、南の地方と比較して

夏が短　いからそこに栽培される品種は他地方のものに比して生育日數に關し大なる制限を受ける故に東北地方の稻品種は南方の地方のものに比して一般的に收量が少ないのが常である斯かる覊絆の下にありながら東北地方の農家が平常の年において相當高い收量を上げて來たのは畢竟農家諸氏の稻作上に傾注する熱心度の大なることを物語るのである、東北地方は平常の年にはその反當收量は青森、福島の二縣を除き岩手、宮城、秋田、山形等の諸縣の如き、近年は敢て内地一般の平均反當收量に比してそん色がないのであるが時々

不良氣　候の襲來を受けて稻作が滅茶苦茶にされてしまう、その年が明治三十五年であり、同三十八年であり、大正二年であり又偶然本年にあつたのである、そこで東北の稻作では平年における反當收量の大さの問題より寧ろその安定度の問題が主であるといふことになる、東北地方の稻作は氣候についていは決して惠まれてゐないのは前段のやうであるが、然し尚一層北方の北海道においても相當有利に稻作が行はれてゐるのであるから、北海道の品種を導入して栽培すれば、少々の

低溫が　來てもそれに耐へ安全であるやうに考へられないこともないが、これは決して正しい見方ではない、元來北海道地方の稻の品種は通俗に二節稻とい　ひ、内地なみの品種に比べて伸長節の數の少い特殊品種である、これは寒冷品種と名づくべきものであり東京地方で栽培すると極端な早生になつて七月下旬には出穗してしまう、その收量も極めて少いものであり、到底内地品種に比すべくもない、北海道では平年でもかかる寒地品種でなくては氣候が許さないため、余儀なくこれを栽培し種々工夫を凝して成るべく大なる

收量を　得るべく努力してゐるのである然るに東北地方の狀態では平年に於ては斯かる寒冷地品種を栽培しないでも、内地なみの品種でも生育期間の長いものでさへなければ栽培が許されるのであるから、農家は常に平年を豫想して内地なみの品種を栽培する、斯くて、暫く平年が續く間に何時とはなしに自然と多收品種に手が出る、そこで隣の農家がどしどし多收品種を栽培し年々高い收量を上げるのを見ては、農家たるものが何んで安全第一を旨として收量の少ないもので我慢してゐられようか、そこで

自然と　北陸や關東の多收品種なる愛國銀坊主等の導入になる、斯く自然に多收主義に向ふのは決して農家ばかりでなく勸農の局に當る人も、不識の間に向ふ進路であり、洵に無理からぬことである、斯かることの續く幾年かの中に本年のやうな不良氣象狀態の襲來を受ける、そうすると斯かる晩い稻は痛く害を受ける、そうなると農家も當局者も俄然斯かる多收品種を呪ひ、收量は少くともよいから安全第一の品種の栽培を唱導する、それは東北地方において古來繰返されてゐる事態であらう

換言す　れば東北地方の環境『思ひ切る』と『切り得ざる』との境界にある、これを例へると吾人が何か仕事をするとき身體が斷然虛弱であれば一人前の仕事はきつぱり思ひ切つてしまふから大なる失敗はないが、中途半端の体であると弱くて耐へられなくはないから遂々無理な仕事を初める、それで押し切つてしまへることもあるがどうかすると甚だしい失敗を招き遂には一命を損ずるやうな破目に陷るのである

夢禪茶語錄（四）

大正寺詣　甲斐正英

尻切れトンボのきりきり舞ひです…

『大地に立つて！頭おさえて！自己を反省しなければ…』

現代人は永久に救はれないだらう…

『理想の改造』

を計らねば只徒らに心魂を勞するのみ…

『汝の理想とは？』

『理想に非らずして空想なのだ！』

『空想が現實化せるなら…』

『豐臣秀吉がなんで草履取りなんかするもんか！』

『眞の理想とは？』

『現實を含む大氣でなくちやならん！』

私は皆さんに指示する…

『宗教的人格完成とは？』

『涙の行！』

ですぞ…

『人間行』

が並みたいていでないことは私はよく知つてゐる…

『矛盾撞着！葛藤繫き人生行路に…』

『人は涙の行を續けてゐるのです！』

『この苦！この辛！』

に敗けてはならぬ敗けたら最後…

『人格完成は…』

成就しない…

『しだれ柳に飛びつく蛙』

です…

『飛んでは落ち…』

『落ちては飛ぶ！』

これ式でなくてはならぬ！

『人は等しく正しく向上すべき性を具有してゐる…』

けれども

『現實と云ふ世の中が…』

『種々の魔境を示現して…』

『正しきこの欲求を妨害します…』

『人格完成を願求しながら…』

『世間と云ふ大勢に引きずられて…』

『一歩進んで…』

『二歩退くのです…』

『この努力は並大底ではない！』

『ちよつとの油斷も…寸豪の隋氣も許さない…』

『落ちても落ちても又飛ぶ程に…』

『とうとう蛙は柳に飛びつき得る！』

私の云ふ…

『涙の行』

とは…これです！

『朝に起き夕に眠る二十四時間！』

恰らく失敗の繰り返しです…

『平凡過ぎる平凡な日常…』

がそれなのです然し靜かに考へねばならぬ！

『失敗から失敗の中に…』

『平凡過ぎる平凡の中に…』

本然の欲求が躍動してゐることを！　人は誰だつて…

『黎明の天に向つて…』

『今日一日は不幸たれ！』

と祈念する筈はない…

『不平不安焦慮…の中にうごめき“がら”』

『どうにかして々々…と』

一縷の希望に振ひ立つてるぢやないか

『この希望！この願求！』

私は畢竟！呼んで

『宗教的人格完成！』…と云ふ

佛格に等しからんと念願する人間必死の願だと思ふ…

前來縷說し來つた二大欲求！

『無限生の願求！』

『人格完成の欲求！』

私はこの二者を一丸して

『願！』

と呼ぶ…

『進まぬ舟は漕ぎ手がない！』

と前に話した如く

『人に「願」なければ！』

『人は永い人生の旅に隋氣と倦怠を生ずるだらう…』

『願！』

あればこそ

『不安を打ち消し束縛から脫し』

『苦しみながら』

『泣きながら』

人間最後の目的貫徹に猛進し得られると思ふ

（この稿終り）

理髪組合青年會　會報創刊

新京日滿理髮業組合では既報の如く組合内に青年會を組織し會員の向上發展を圖るべく研究會を開催したが、同會では更に組合會報を創刊し各方面に發送した

新刊紹介

▲滿蒙（十二月號）主要記事　無限の寶庫の經濟價値、北滿を繞る日滿蘇三國關係、六代の巫、支那識字問題と民衆文藝、滿洲女巫物語、木材都市明月溝、別冊附錄に盛島角房氏の外蒙古と自治內蒙古の現狀を添ふ、一部金一圓、發行所大連紀伊町滿洲文化協會

ラジオ

三日（月曜）新京

午前之部

六、五〇　ラヂオ體操（東京より）

七、一〇　ラヂオ體操（滿語）

八、三〇　經濟市況（東京より）

八、四五　天氣實況（日滿語）（奉天より）

九、三〇　演藝（レコード）（滿語）

一〇、〇〇　料理獻立（日）（奉天より）

一〇、四〇　經濟市況（東京より）

一〇、五九　時報（東京より）

一一、〇一　經濟市況（東京より）

一一、三〇　經濟市況　ニュース（大連より）

一一、四〇　ニュース（滿）（東京より）

午後之部

〇、〇〇　經濟市況（大連より）

〇、一五　ニュース（日語）

一、〇〇　演藝（滿語）　猜西廂　雙玉班　佩蟬

二、〇〇　經濟市況（大連より）

二、二〇　成人講座（滿語）　王道興禮教　文教部調査科　陳憲銀

二、四〇　日用品値段（日滿語）

二、五〇　經濟市況　ニュース（東京より）

三、二〇　ニュース（日語）

三、三〇　經濟市況（大連より）

三、五〇　經濟市況（日語）

四、〇〇　ニュース（鮮語）

四、一〇　ニュース（滿語）

四、二〇　滿語講座　講師　高宮盛逸

四、四〇　日語講座　同　近藤眞助

五、〇〇　子供の時間（哈爾濱より）（奉天より）

五、三〇　番組豫告（日語）　氣象通報

五、三五　氣象通報（番組豫告）（滿語）

六、〇〇　ニュース（東京より）

六、二〇　政府公報（滿語）

六、三〇　講演　滿洲國通信社記者　陽口壽一

七、〇〇　講談（東京より）　瓢簞屋政談　一龍齋貞鏡

七、三〇　長唄（東京より）　吉原雀

唄　富士田新藏　同　杵屋三久　同　同　音松　同　杵屋五三郎　三味線　杵屋五吉　同　同　五四郎　同　堅田喜三郎　笛　望月太左衛門　小鼓　同　太津雄　同　望月太意次郎　大鼓

七、五〇　浪花節讀物（第五夜）（東京より）　桂川力藏　一心亭辰雄

八、三〇　時報、ニュース（東京より）

八、四五　ローカルニュース（日語）　國民の時間（滿語）　中央批發市場法　實業部工商司商務科長

九、一五　演藝（滿語）　二進宮　艷春院　香妹

九、三〇　ニュース（滿語）

九、四〇　ニュース（英語）

九、五〇　ニュース（滿語）（哈爾濱より）